

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ5	出席委員数	4名
日時	平成21年 9月 5日(土) 10時00分～12時00分		
場所	北方町役場第2会議室		
<p>【協議事項】(テーマ等)</p> <p>○ 学校教育 次回開催日について ○ 10月3日(土) 午前10時から</p> <p>ー主要意見ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方南小学校はなぜあの場所に建設したのか、またその校区は。 → 公共用地が乏しいため、まとまった農地があり人口が増加している地域としてあの場所が選ばれた。 校区は柱本と高屋地区(おおむね中央公園の南側)で、児童数は北方小学校とほぼ同等である。 ・ 児童、生徒および保護者の個性が様々であり、その対応が多様化し教員の負担が増大している。教員の現状の把握及び意見等を汲み上げる制度はあるのか。 ・ 居住場所を選択する上で、学校の評判はかなり重要である。また子どもの幼児期にずっとここに住み続けたいと思うかどうかである。その理由は、新たに友達を作ることが大変だったり、幼児期に形成された親同士のコミュニティを大切にすることが多かたたりするからだと思う。 ・ 北方町では新入学児童にランドセルを無償配布しているが、転入者への配布は考えていないのか。周りの児童と違うことを気にする児童もいるのではないか。 ・ 夫婦共働き世帯にとっては、学童保育の実態が気になる。どこに行っても満員で子どもを預けられない状態であれば、安心して働けない。 ・ 児童、生徒が主体的に学ぶようにする意識付けが重要だと感じる。やらされるのではなく、自らやることが重要。 ・ 子ども会の運営も親が行っているところもあり、子どもの主体性が失われてきていると思うこともある。本来、親はサポートに徹するべきである。 ・ 子ども会への加入も任意であり、学校の縦割り教育でも仲良くなれるとは限らない。異学年との関わりができない子どもが増えている。 			

- ・ 子どもが意見を言うことで、何らかの変化が実感できれば主体性が身についてくるのではないか。学校は子どもの意見に対して寛容でなければならない。また、子どもが決めたことを実行するためには親への負担を伴うこともあるが、子どもの成長のためには親が我慢することも必要であると思う。

次回協議事項

- コミュニティ活動について